

追放された

魔王と共に

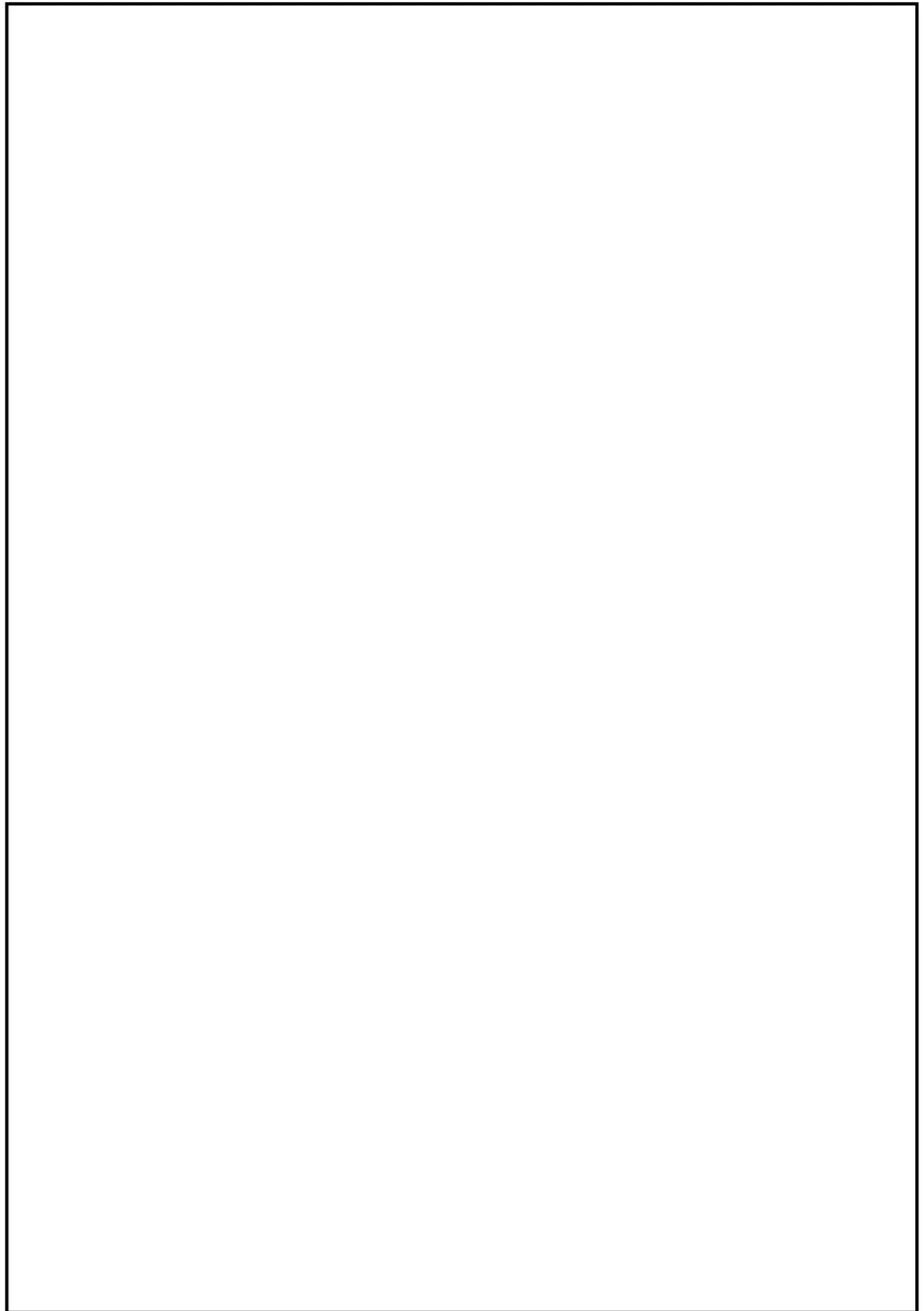
令嬢は

復讐

する

ep.1







魔王が統治する魔王国

エルフが統治するエルフ国

人間が統治する王国

アクリナ大陸は
この3国によって
長年均衡を保っていた

その中でも王国と魔王国は
激しい戦火によって
お互い疲弊し

300年間の
侵攻不可条約を結んだ

— 100年後

お父様もどうしたんだろ…

今回は特別なんだ

パーティなんて
いつもは参加しないのに

こんな場所
初めて来たけど
場違いすぎるよ…

早く帰りたい…

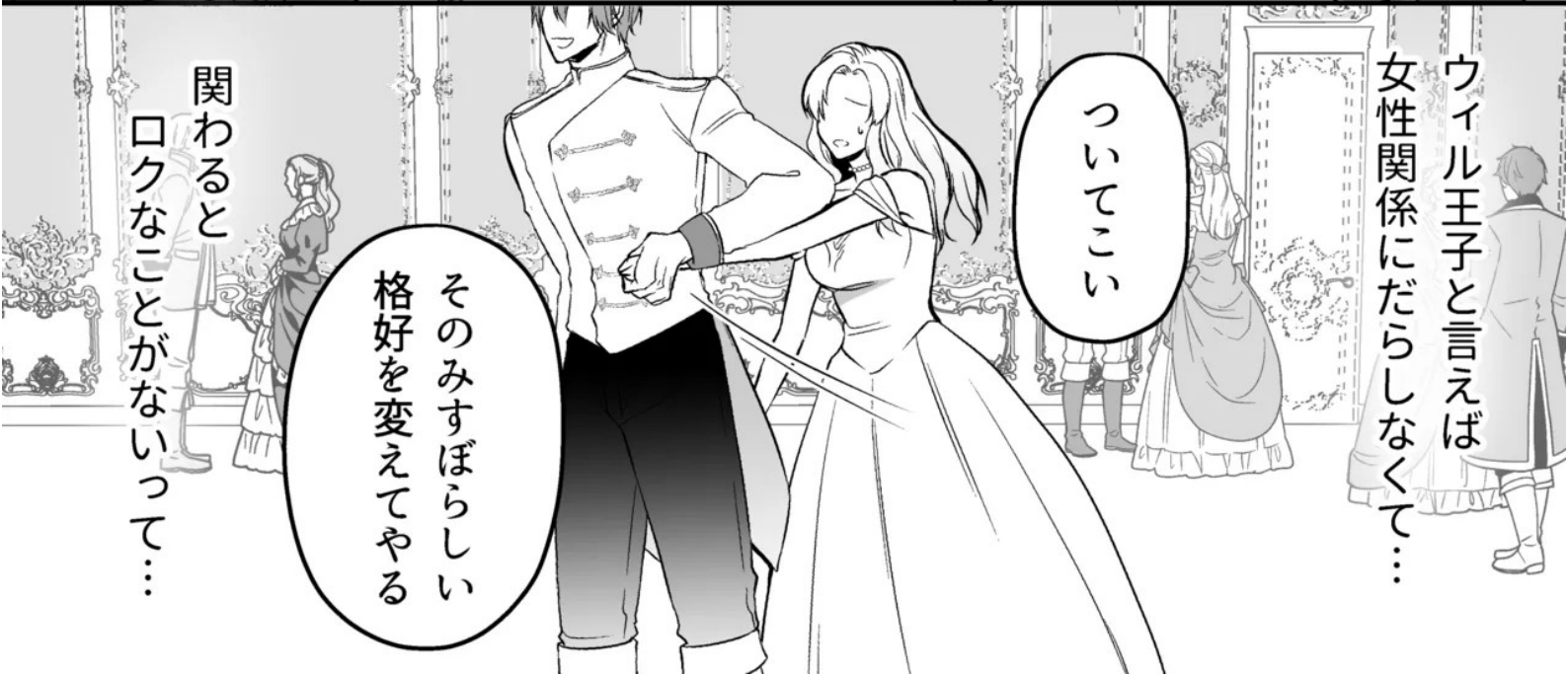
まあ此処で大人しく
時間をつぶして

男爵の娘

令嬢 セレナ

ドレスが…!!

なんだ

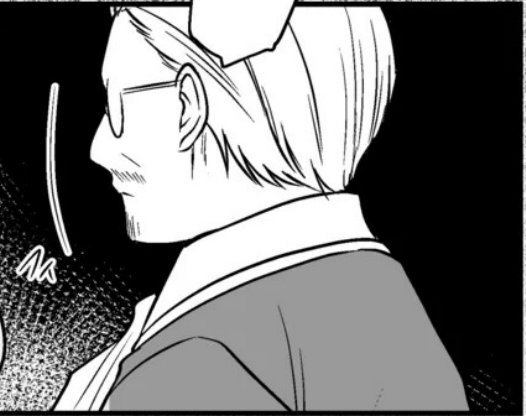


このままだと私

お父様っ！

あの…っ！

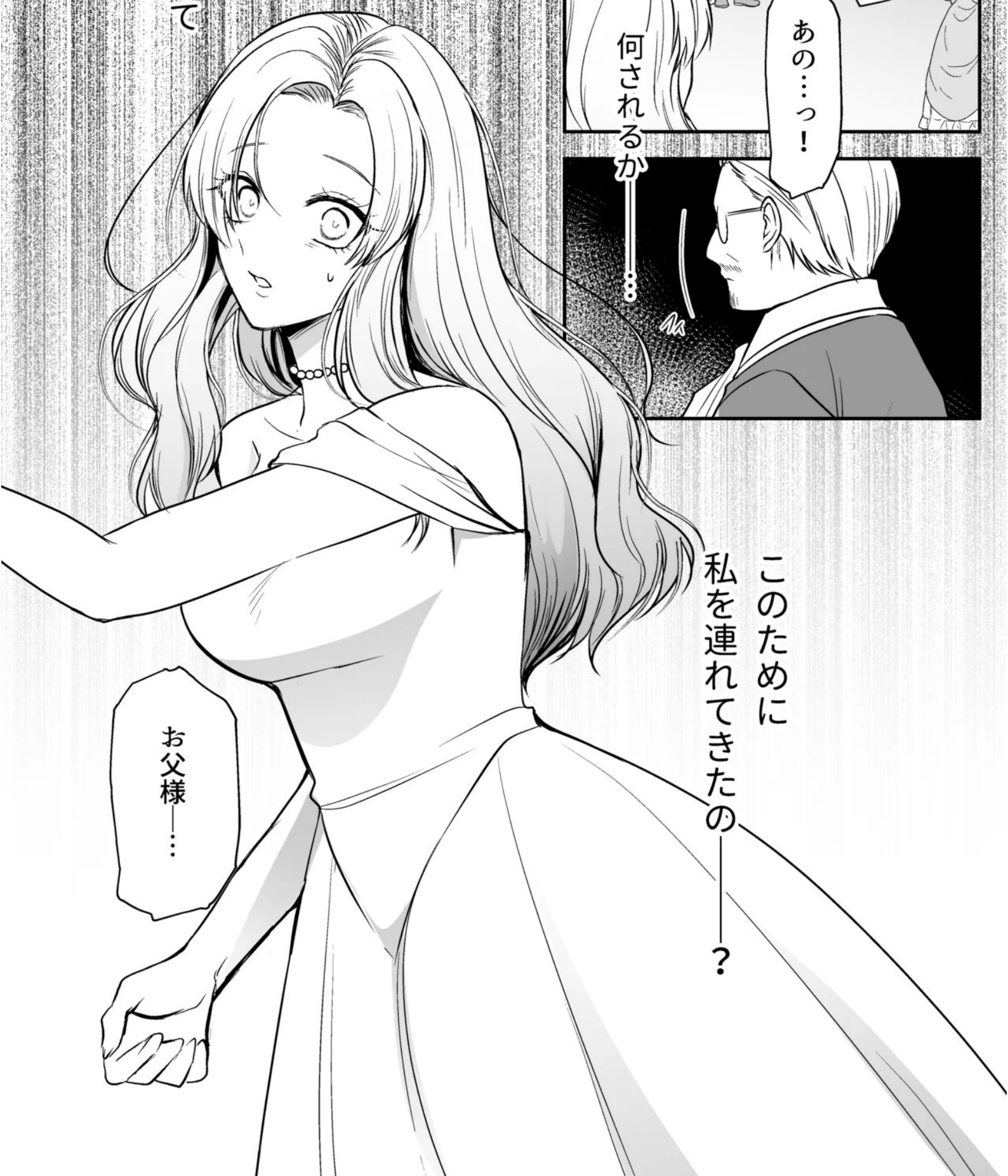
何されるか

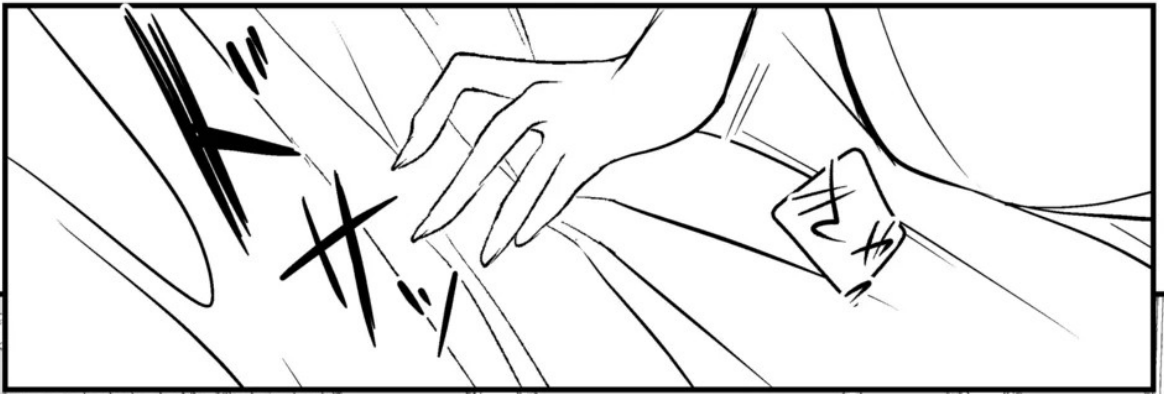


このために
私を連れてきたの
？

もしかして

お父様…





何…この部屋…

お前達は

早く出ていけ

私以外にも
女の人が沢山…



噂は本当だったんだ…

今日から此処が

お前の部屋だ

部屋のモノは
好きにすればいいが

外には出るな

え…

お前のような
低い身分の令嬢が

この俺の
女になれるんだ

光栄に思え

王子!!

王子!!
いらっしゃいますか

王がお呼びです——っ!!

国王からの話――？

内容は分からないけど

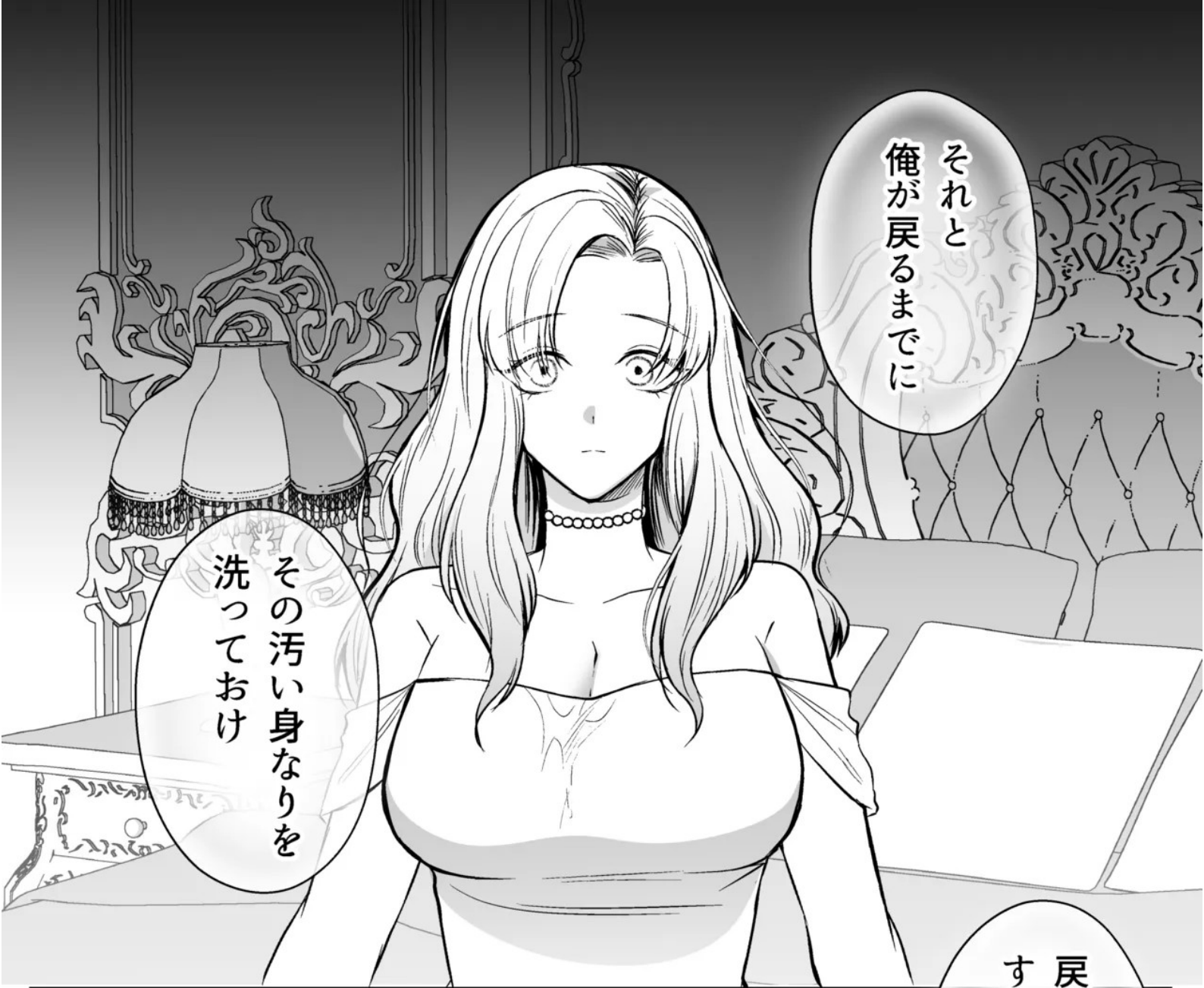
わかった
すぐに行く

大人しく
待っているよ

…もし逃げれば
どうなるか分かっているな

助
か
っ
た
！
…

おい



それと
俺が戻るまでに

その汚い身なりを
洗っておけ

戻り次第
すぐに抱いてやる

分かったな

タ
ン
ッ

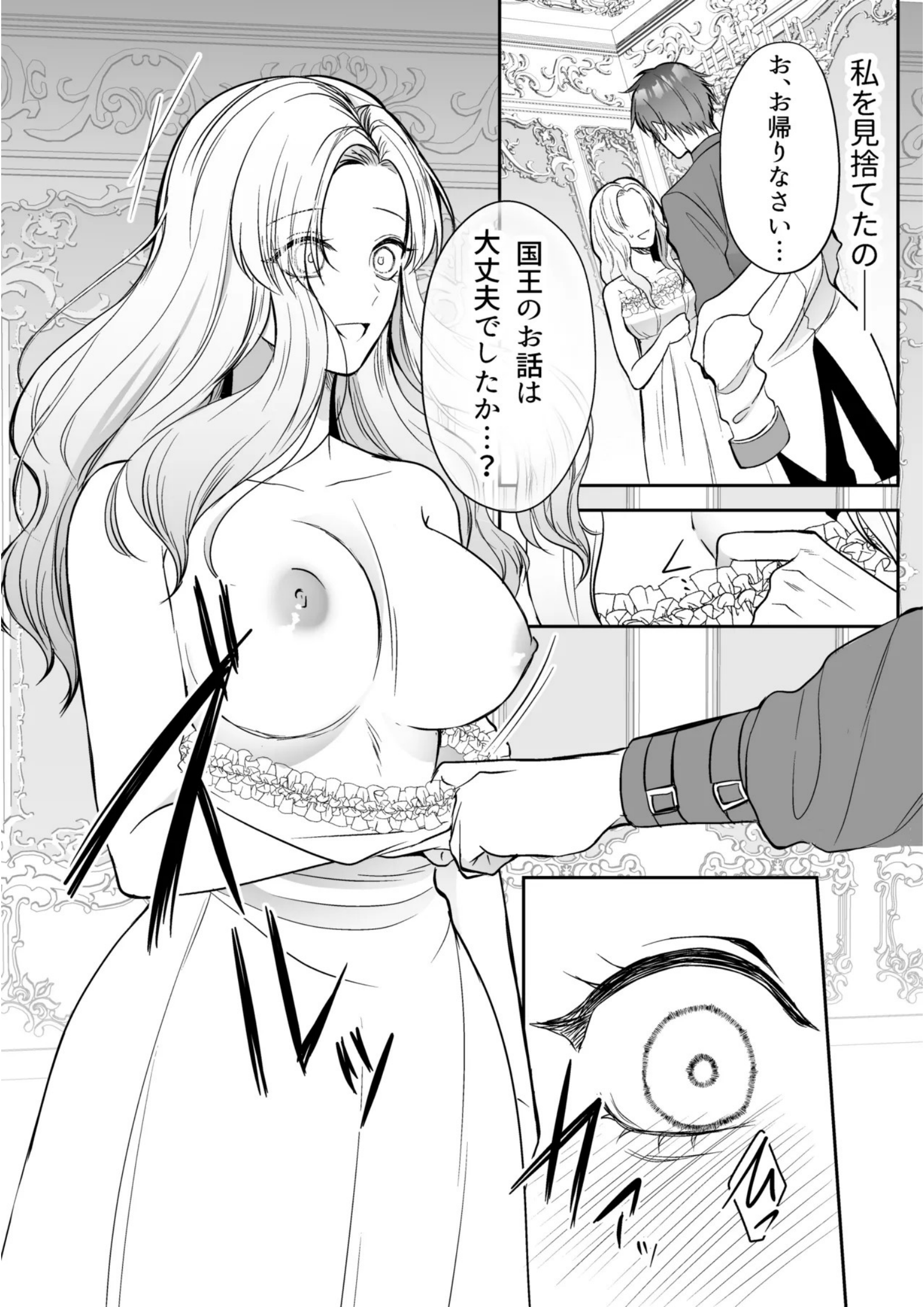


私を見捨てたの――

お、お帰りなさい…

国王のお話は

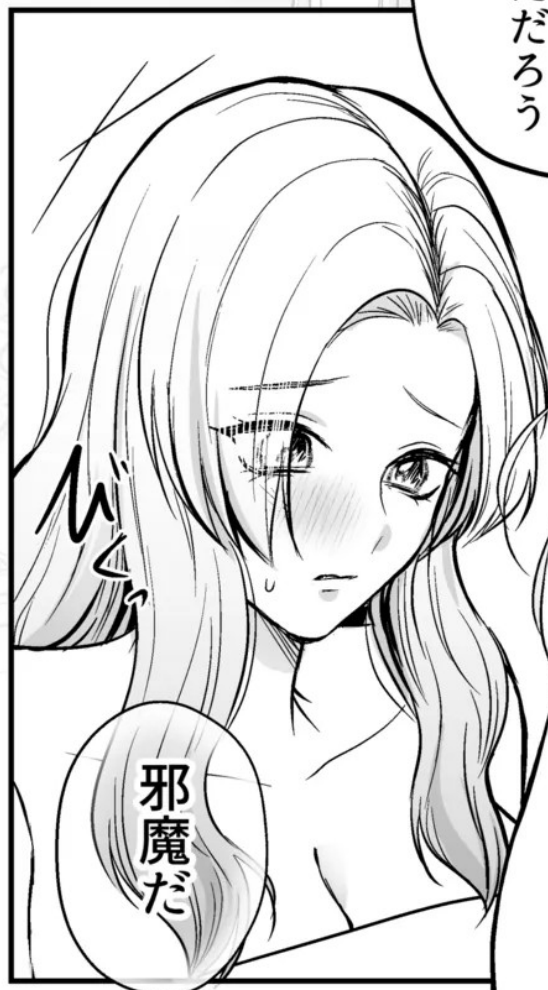
大丈夫でしたか…？





戻り次第
抱くと言っただろう

何故そんなものを
着ている

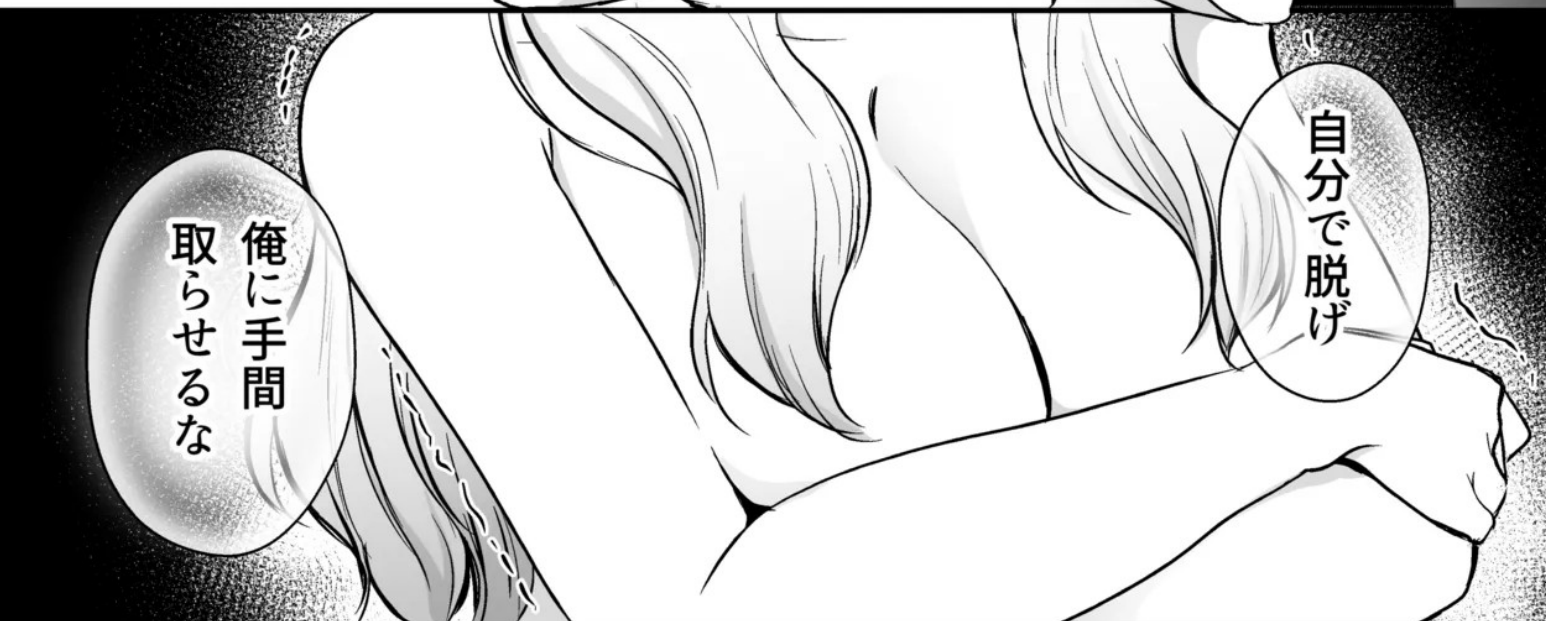


邪魔だ



自分で脱げ

俺に手間
取らせるな



…はい

よし

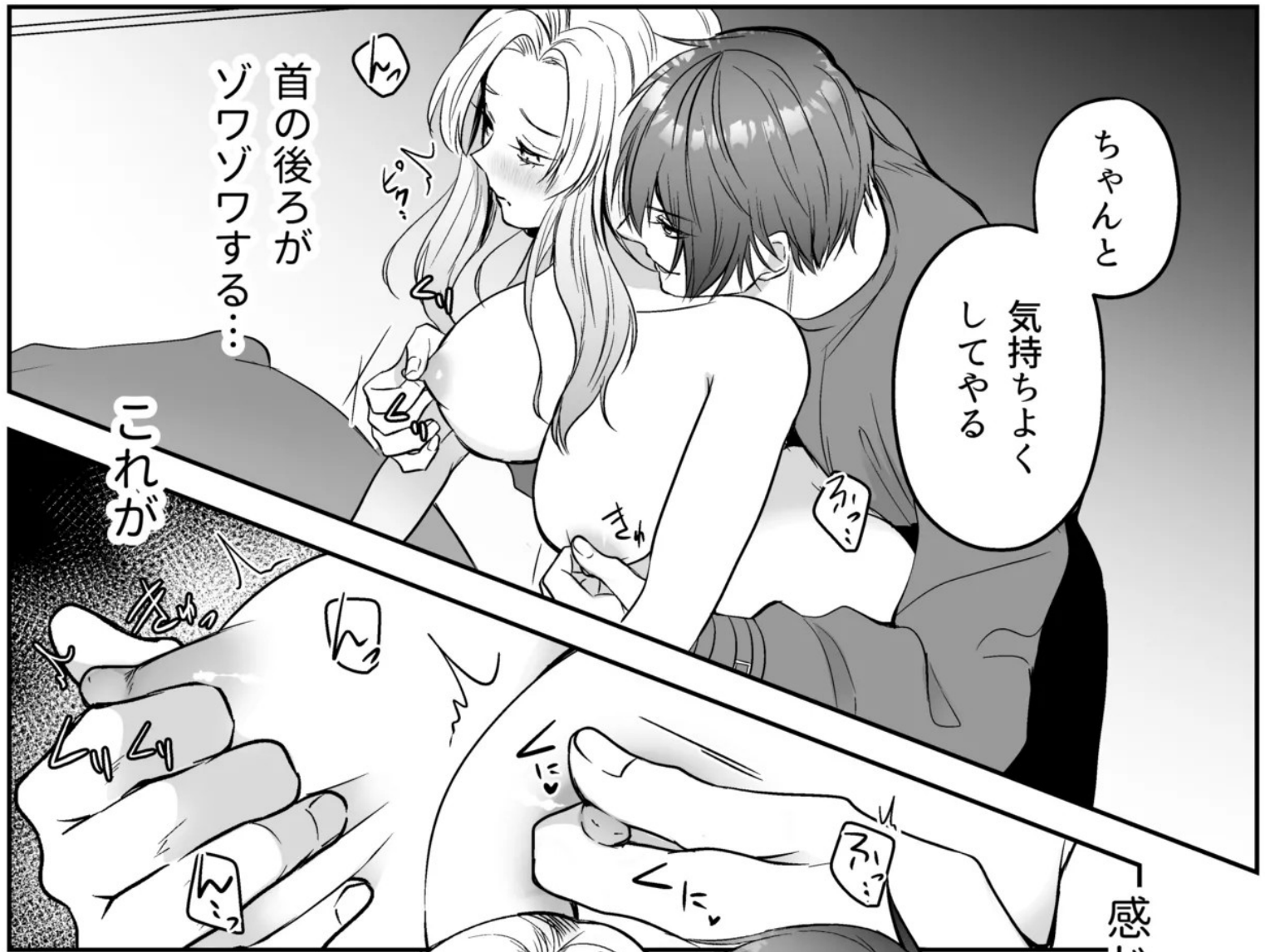
そのまま
そこに手をつけ

そうだ

大人しくして
いれば

悪いようには
しない

ふん



感じるってこと——？

…反応が鈍いな

もしかして

気持ち悪い——っ

処女か？



初めてだって

分かったら

は…

はい…

そうか

きつと優しく…

なら

さつさと挿れて
終わらせるか

え……？

処女は反応も
薄くて濡れにくい

そんなのに
時間をかけても
楽しくないからな

締りは
良いだろうから
挿れてやる

よかったな

や…



あ……っ！

動かないで……っ！

やめ……っ
あっ……！

いっ……！

痛いっ……！
あっ……

ビクッ
グッ
グッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ビクッ
グッ
グッ



気持ちいいだろう？

やだ

ちゅっ

ぽちゅっ

ちゅっ

出し入れされてるところが

あ

ちゅっ

すちゅっ

トコトコ

痛くて苦しくて

全然気持ちよくななんてないのに

あ

あ

あ

声だけは

出ちゃう——

足を上げる

挿れてやる

もつと奥に

女
もっ
♡

12

まっ
12
30
40

奥の何かに

当たってる…っ

いい声が出るようになったじゃないか

絶対にこんなので

もっと出せ

気持ち良くななんてなりたくない…!!

A stylized logo for 'THE KICK'. It features a white hand with a black outline, holding a black shoe. The word 'THE KICK' is written in a bold, black, sans-serif font across the middle of the hand and shoe. The background is black.

はっ



170
W
7

170
W

✎

なかなかいい締まりだ……

：そろそろ
出すぞ！

終わって……

終われ
———！



気持ち
良かったらろう？

お前も最後に
いい思いが出来たな

最後

……？

ああそっか
言っていなかったか

お前をこの後

捨てに行く

え…？

国王の話は俺の結婚相手が
決まった報告だった

言っておくが相手は
お前なんかじゃない

エルフ国の
皇女とだ

じゃあ

私は

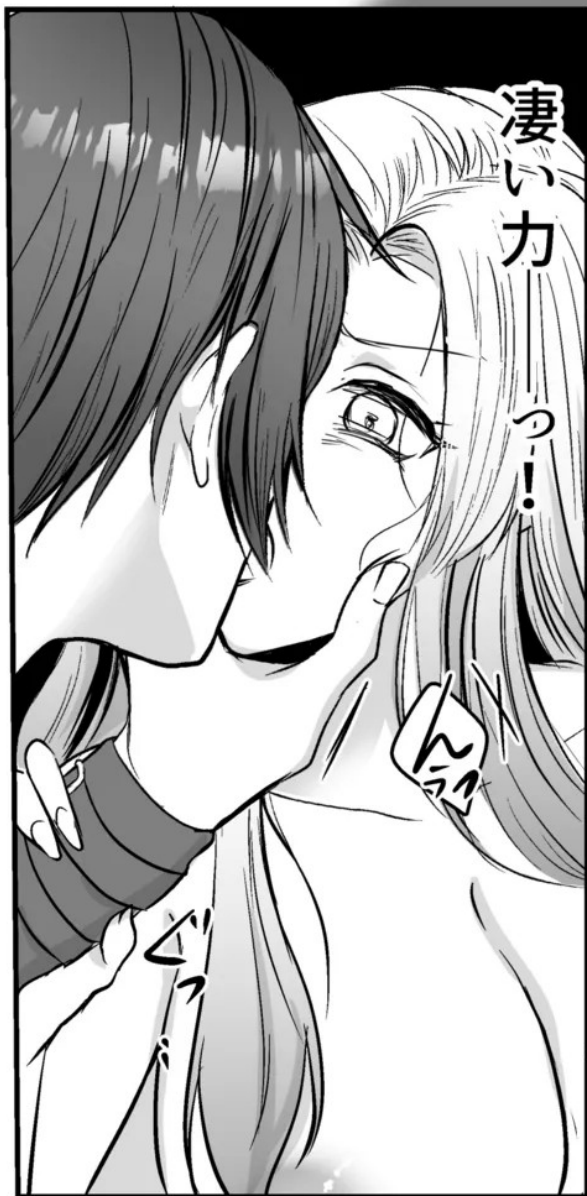
何の為に――

このっ…!!

貴族とはいえ男爵位の
令嬢なんかには手を出した
とバレたら

相手に失礼だろうか？





凄い力

っ!

んっ

っ



ちゅっ

…っ!



ヤッ



抵抗出来ない…

ッ
グッ



どうして

そういえば

1度エルフの皇女を
見た事があるが

お前よりも
綺麗な女だったぞ

誰も
助けてくれないの

昔からずっと

ここで
いいだろう

あまりいい思いは
して来なかった

おいっ
止める！



貴族の中では
低い地位のせいで

上からは馬鹿にされ
下からは妬まれる

どちらにも
入れてもらえず

何度悔しい
想いをしただろう





…でも
そんな中でも

誰を妬むことも
しないで



沢山の事を
我慢してきたのに

ザッ

どうして

ふふっ



こんな仕打ち――



小さな幸せだけでは

ほら
こっち！

こっちにねっ
誰も知らない
ひみつの場所があるのっ！

上書きできないくらい

王子を
お父様を

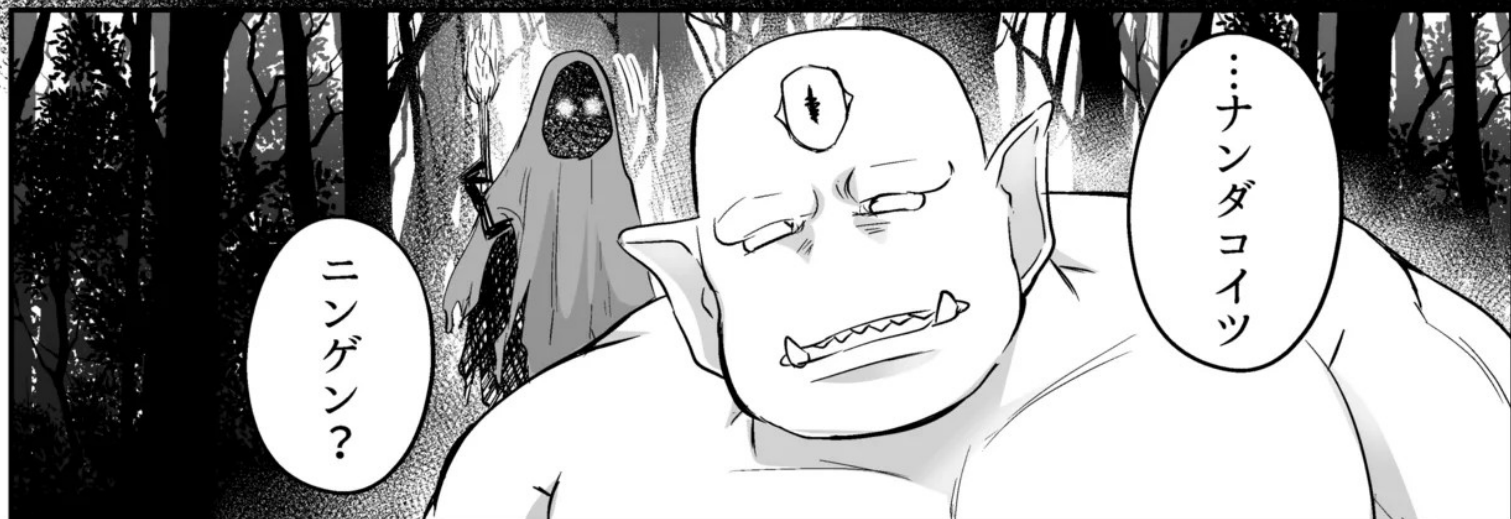
絶対に

この国を

許さない
—

復讐してやる





ニンゲン？

…ナンドコイツ



なぜ人間が
我らの領土に——っ!!

マダイキテル

モツテイコウ

100年前の条約を
忘れたと言うのか!!

これは我々への
冒涇だぞ!!

グッ

お前達もなぜ
連れてくる!!

この城が
汚れるだろう!

全く…
最近の魔物は…

ふっ

ふっ

あ



その恰好
人間の中でも
上の部類だろう

…面白い

魔王
グラハム



良いものを
持ってきたな

何故ここにいたのか
話を聞こう



やっぱり此処は

身なりから察するに
貴族のようだ

そんなお前が
此処にいる理由^{ツケ}を

魔王城！

俺に話せ

知らない間に入ってしまった

あ…

人間の禁止領域

ヤダ

…

私…

ヤダ

殺されても

文句は言えない

きゅ

…っ私は王国の王子に
襲われ、用済みだと
追放された

男爵の娘です…

ピク

父にも…誰にも

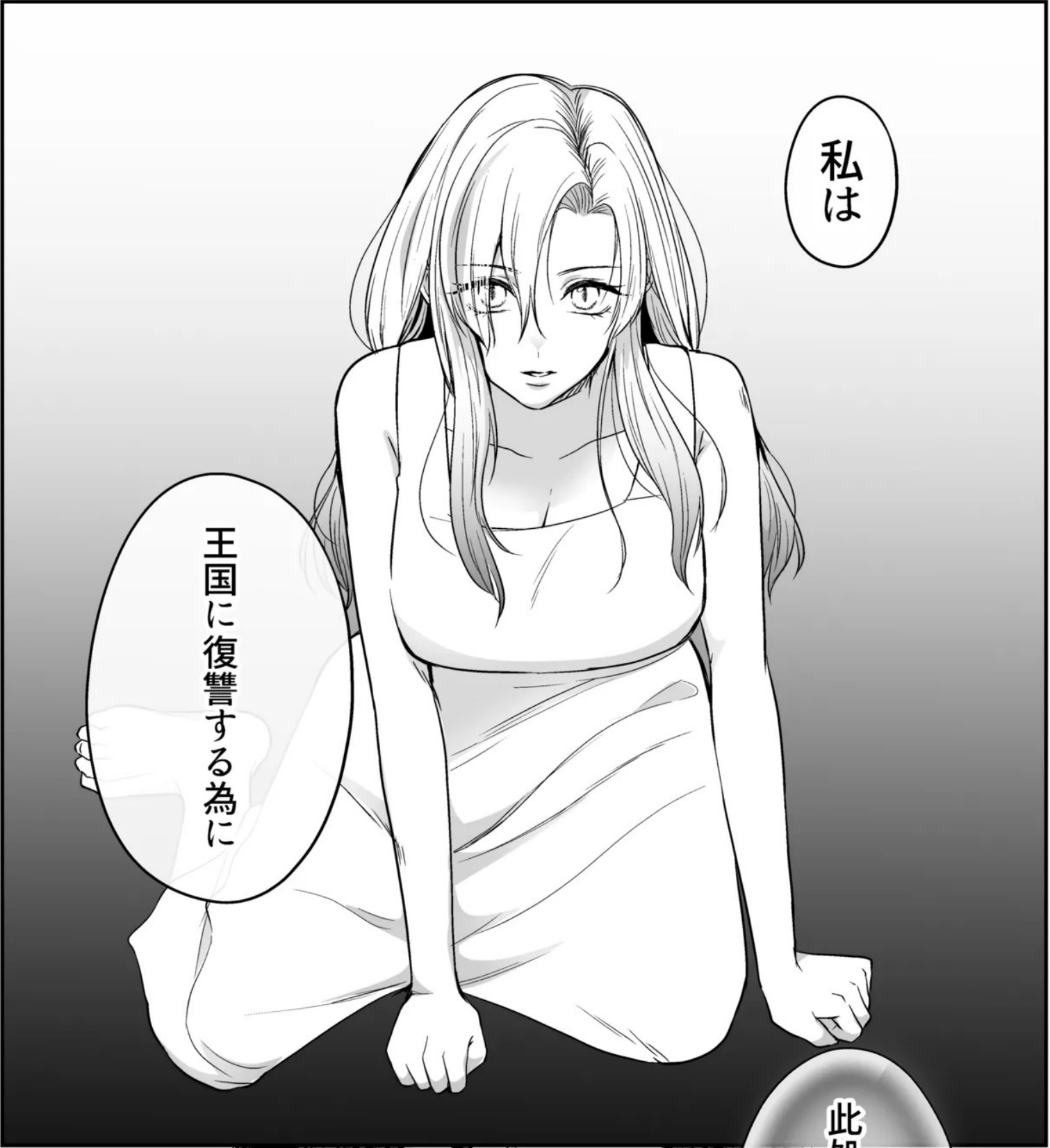
助けられず

頼るあてはありません

今までは

我慢してきた…

でも、今は追放した国も
あまりに憎く許せない



私は

王国に復讐する為に



此処にいます……！

ぎょ

カカカッ!

貴族の女が
『復讐』とは面白え!

気に入った!

俺の傍に
置いてやる!



お前の部屋を
用意してやろう

魔王城に住む――？

いっ……！

今日から此処に
住むがいい

身体が……っ

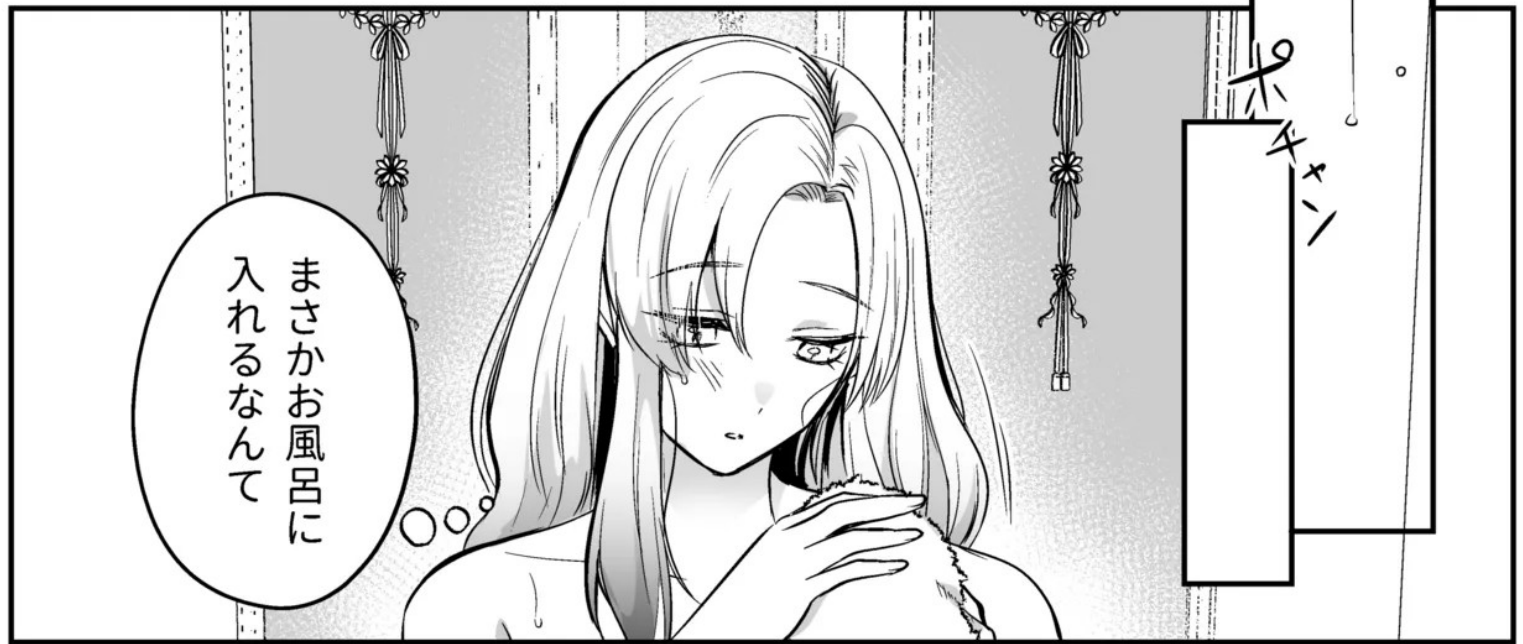
近ッ
!?
デカッ

なんだ
身体が痛むのか？

安心しろ
俺が治してやる

は、はい……

ズキン…
ズキン



まさかお風呂に
入れるなんて

ポ
キ
ン



はあ

そのまま
こっちに来い



あれ？
服が無い：

ス
ツ
キ
リ
は
し
た
け
ど
カ
ラ
ウ
エ

身体が痛いのは変わらない

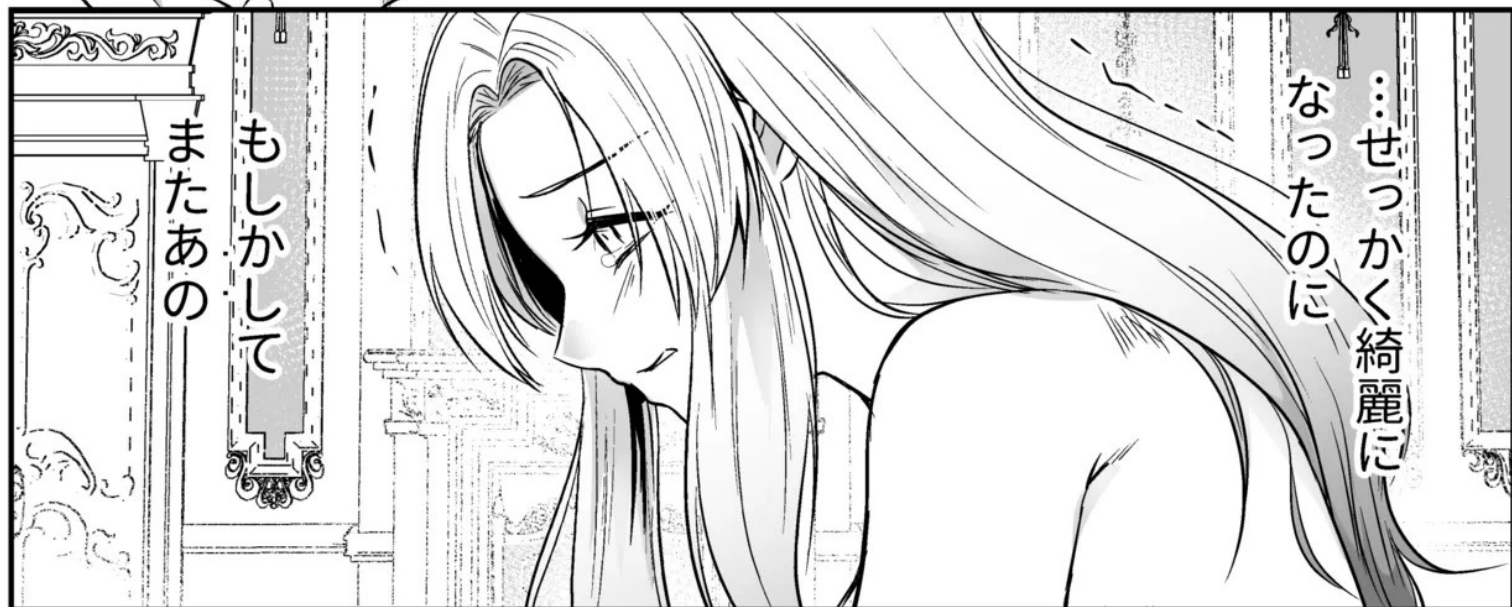


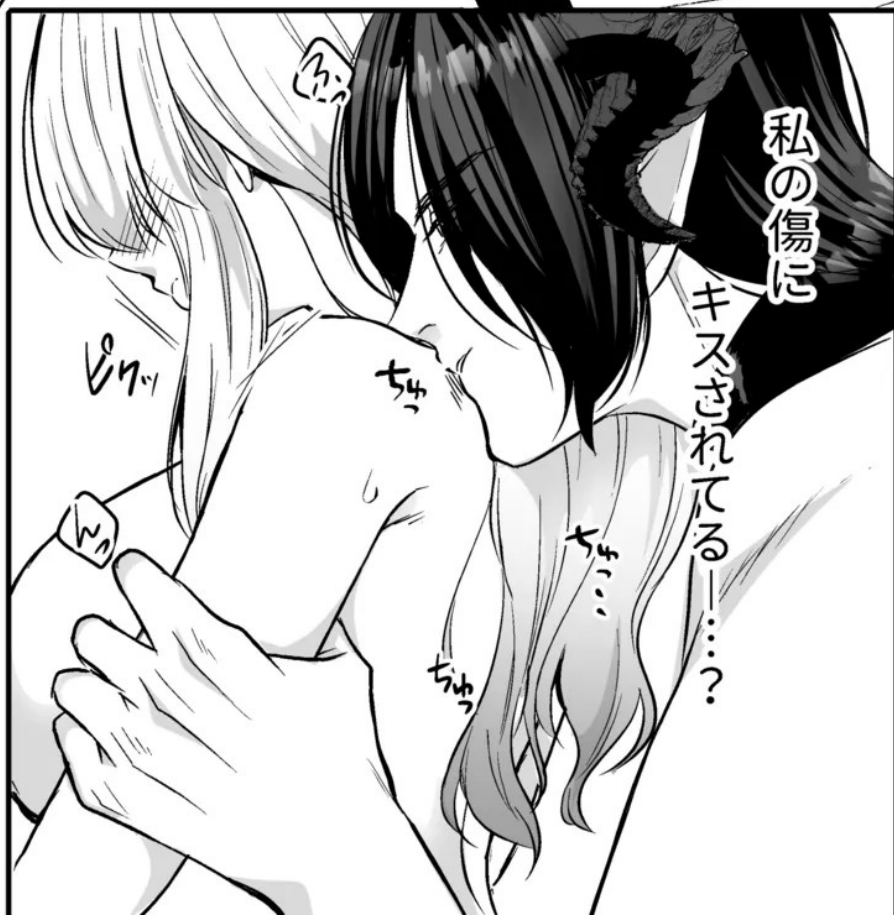
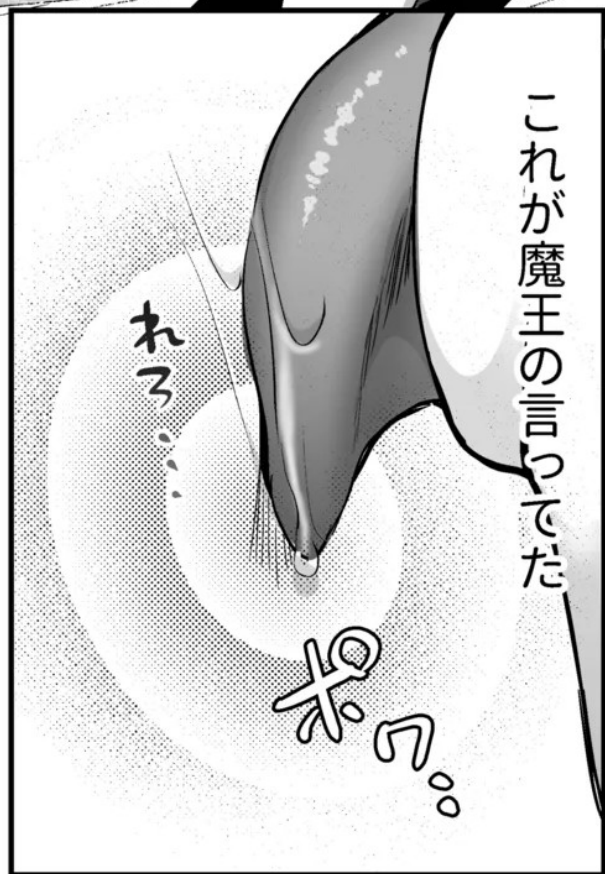
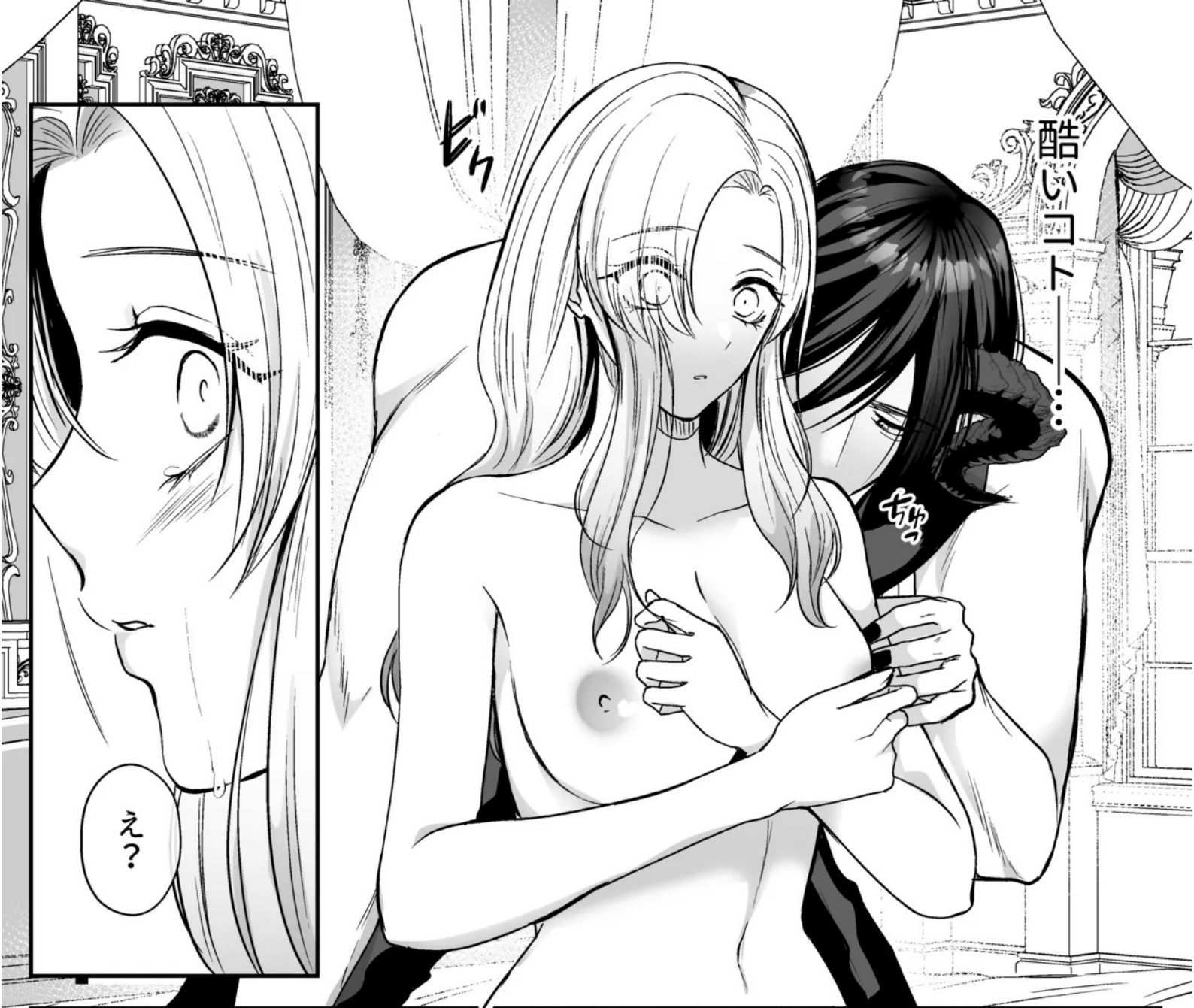
あの：

服って

そんなもの
要らん

治すってどうするんだろ







身体の奥から

？

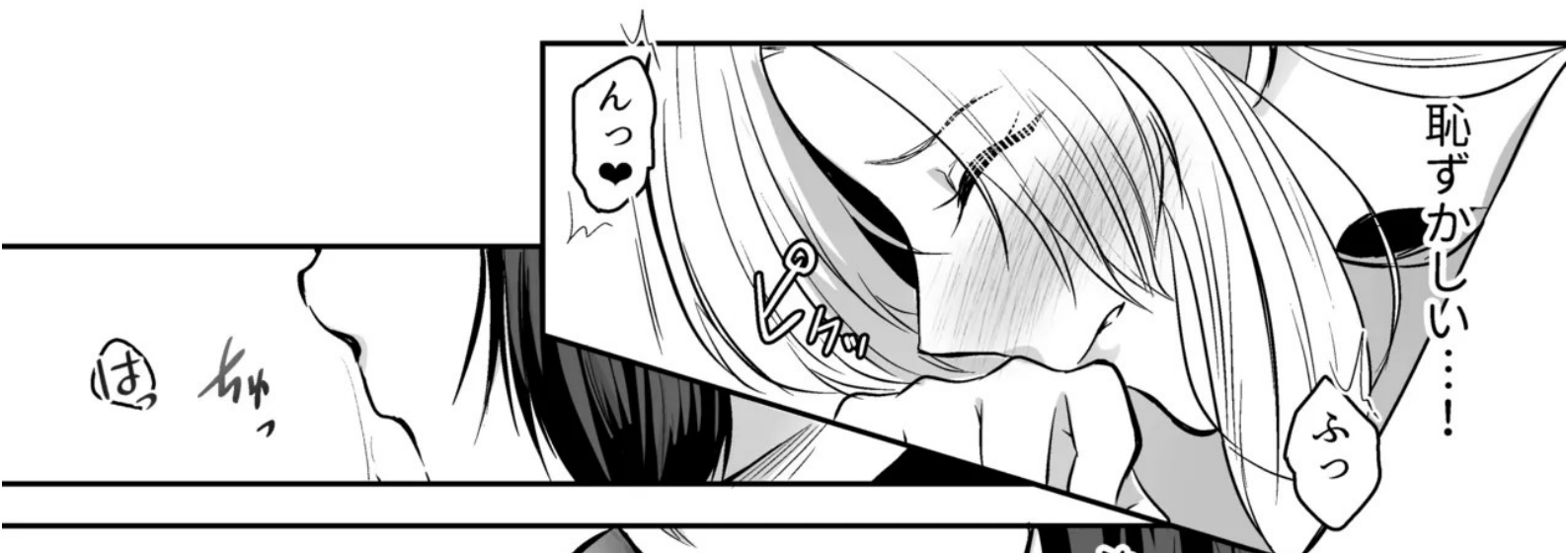
声がでちゃっ...っ

ちゅる

私...

今濡れてる...

いあ...





どうだ
身体が軽く
なっただろう



軽くなるどころか

俺の体液は
癒す効果がある



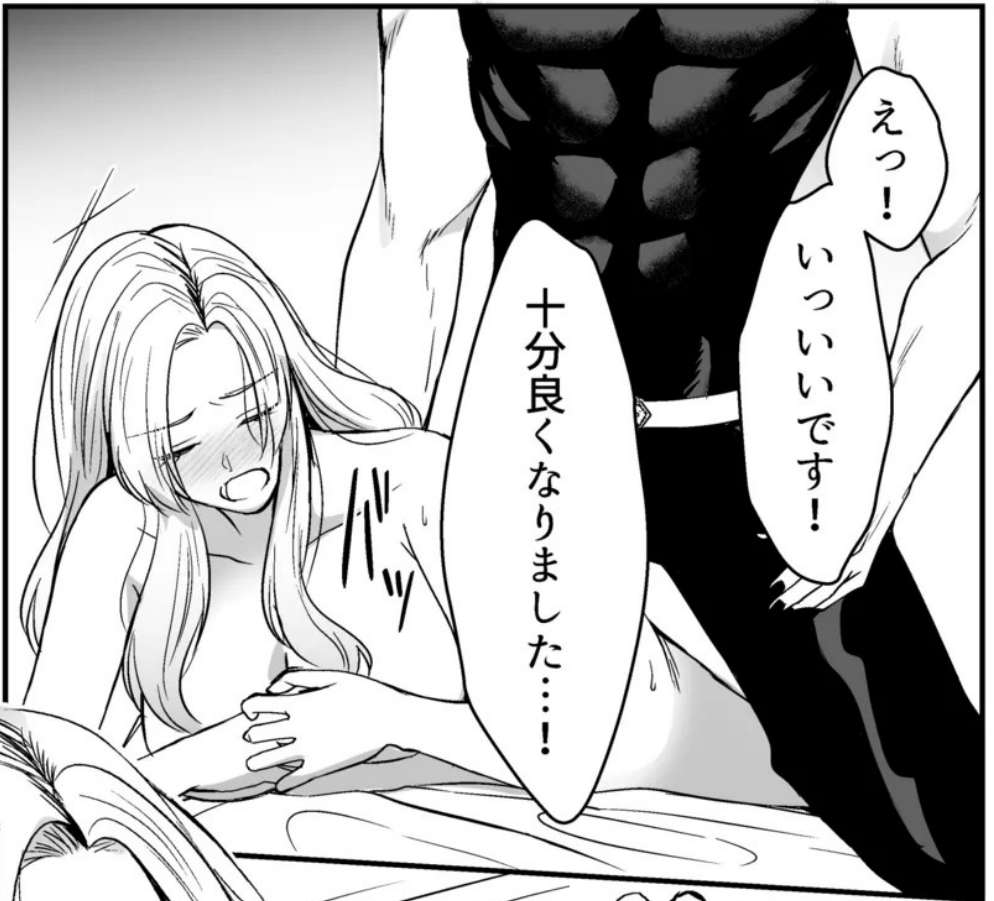
後ろはこれで
大丈夫そうだな



奥が疼いて
変になりそう...

次は前だ

こっちを向け





カカツ

人間の女は
こんなことで
感じるのか？



感じてたのか



それとも

お前が
感じやすいだけか

ココは別に
傷ついてないだろう？

触る必要は
ないんだがな



遊んでやろう

...悪くない反応だ

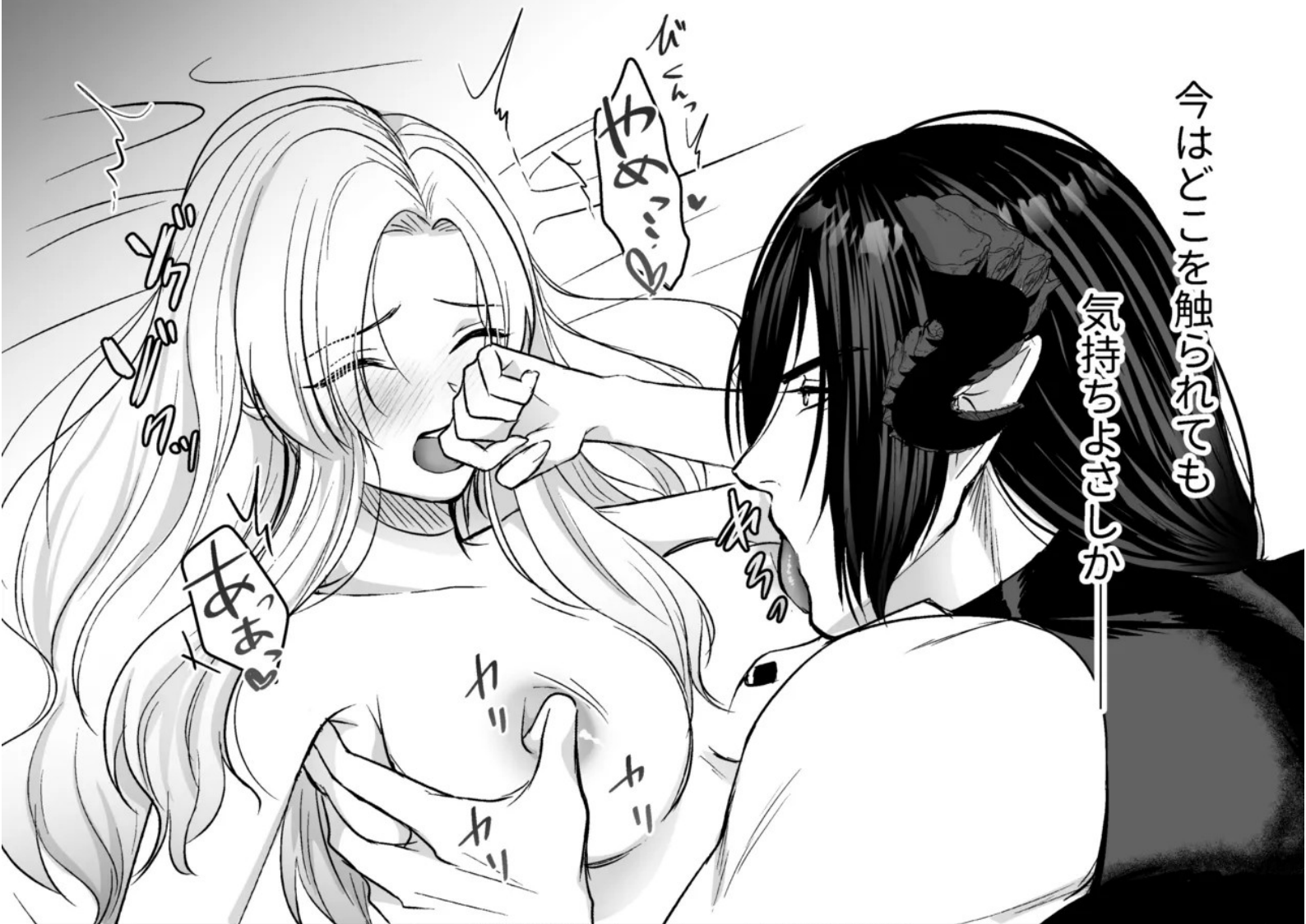
あゝ♡♡

王子との時は
あんなに怖くて

痛かったのに

今はどこを触られても

気持ちよさしか



どうせココも



濡れてるのだろう

気持ちいいけど

さっきから
ずっと浅い…

もっと
押し付けて…っ

自分から腰を
押し付けて

俺を使う気か？



まだ中を



勝手に満足するな



治していないだろう



気持ちよさで痛みが消えたか?

痛みは
感じなくても

折角だ

しっかり
治療してやる

外側から
赤く腫れてるな

んんん

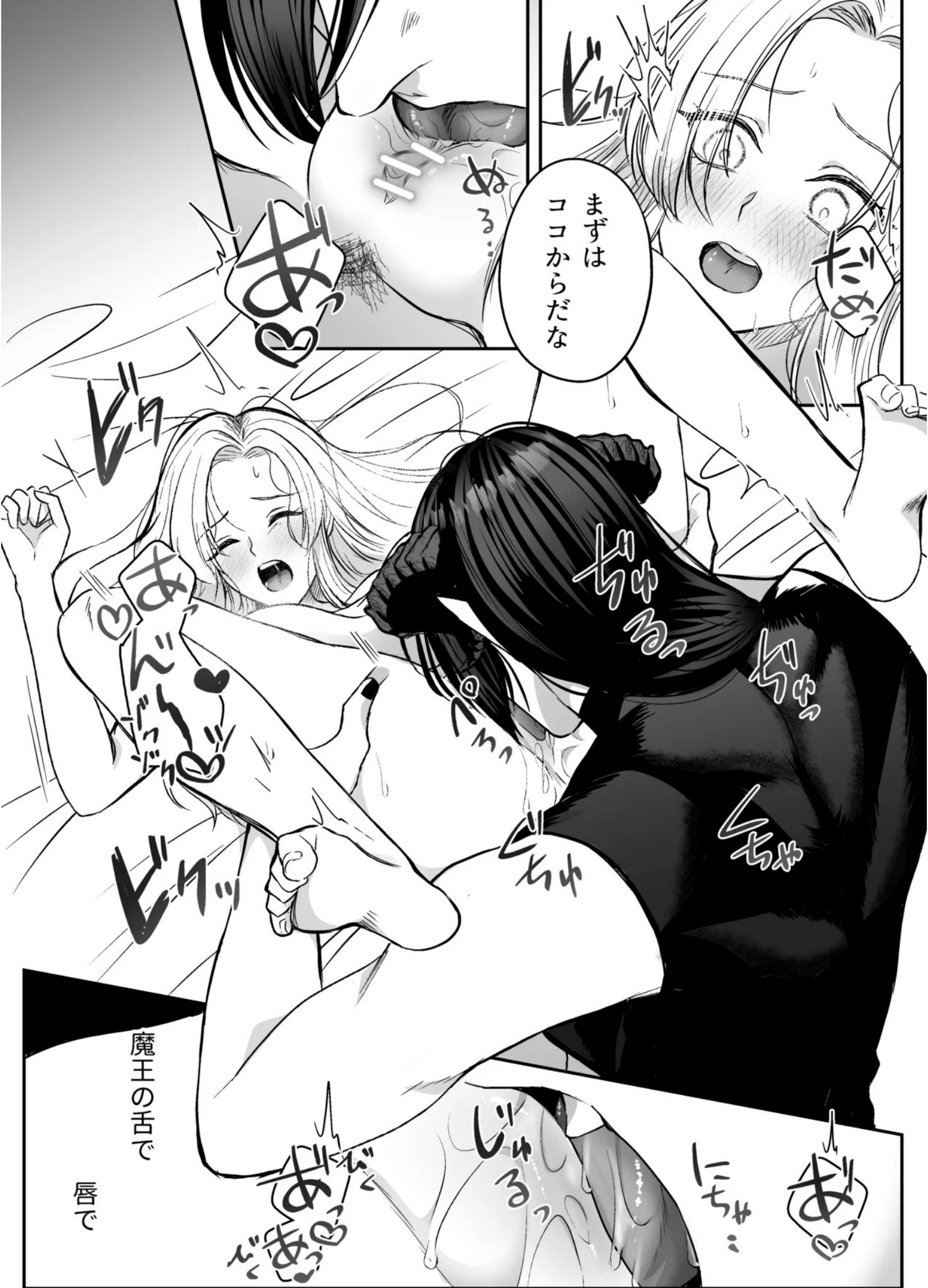
する

あ

う

ん

ん



吸われてる

はぁ

はぁ

そんなトコロ

見られる事なんて

ちゅ

今まで無かったし

ちゅ

もっ

舐められるなんて

ちゅ

ちゅ

あ

あ

あ

ちゅ

ちゅ

あ

ちゅ

ちゅ



中の方が傷ついて
いるようだな

ちゅる

ちゅる

もやめ

は

ちゅぽ

中もしっかり

ガク

ガク

痛かっただろう

おめ

ちゅる

治してやる



なまーたー

あーあー

はっ

はっ

苦しいー

はっ

もー

大ー

はっ

はっ

はっ

んあー

いや
まだだ

奥が

しゅ...

はっ

簡単にイクように
なったな

一体何回
イけるんだ？

ぐっ
あ
ん

ぐっ
あ
ん

ぐっ
あ
ん

ぐっ
あ
ん

ぐっ
あ
ん

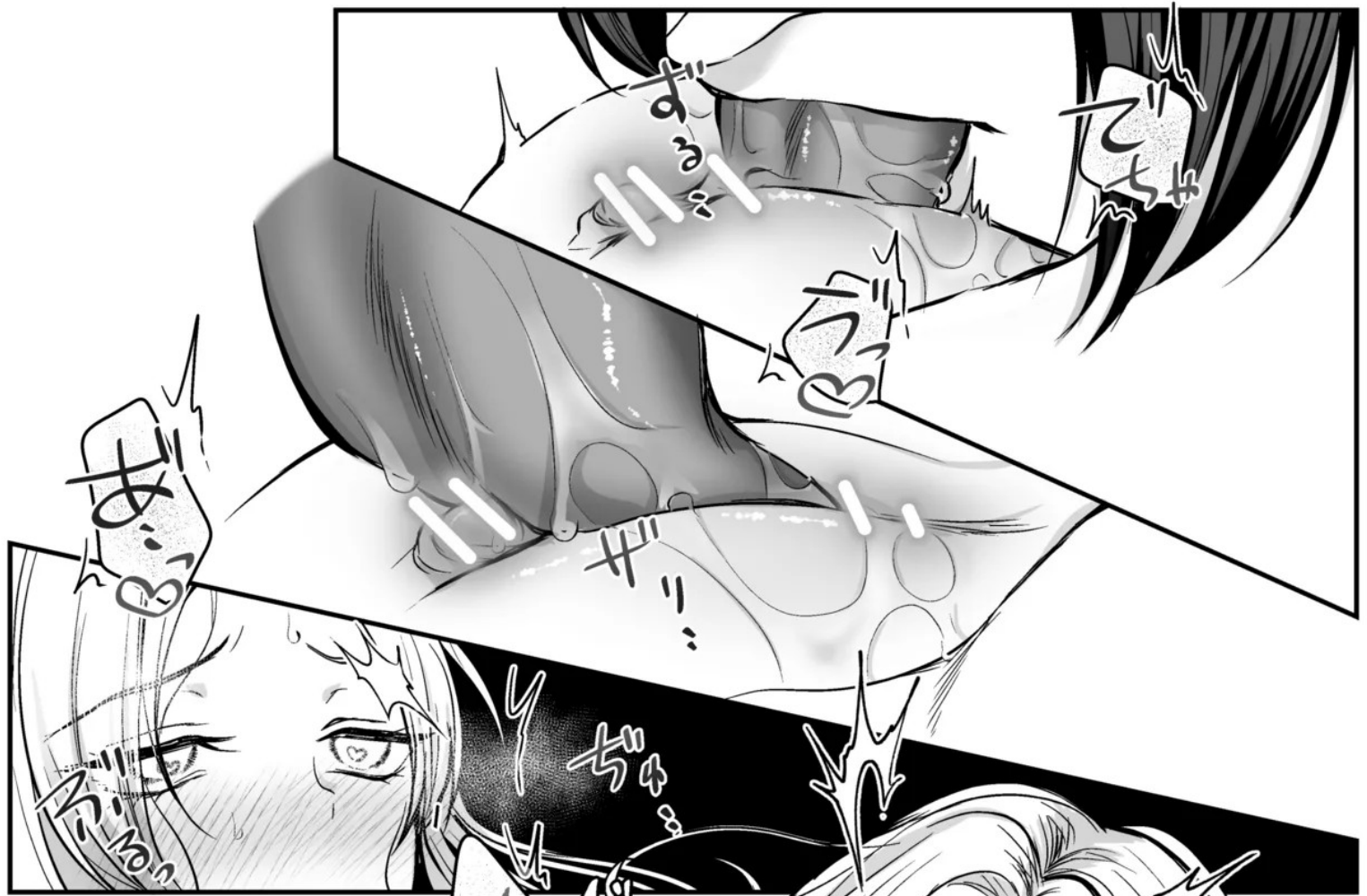
ぐっ
あ
ん

ぐっ
あ
ん

息の仕方って
どうするんだっけ

もう考えられない

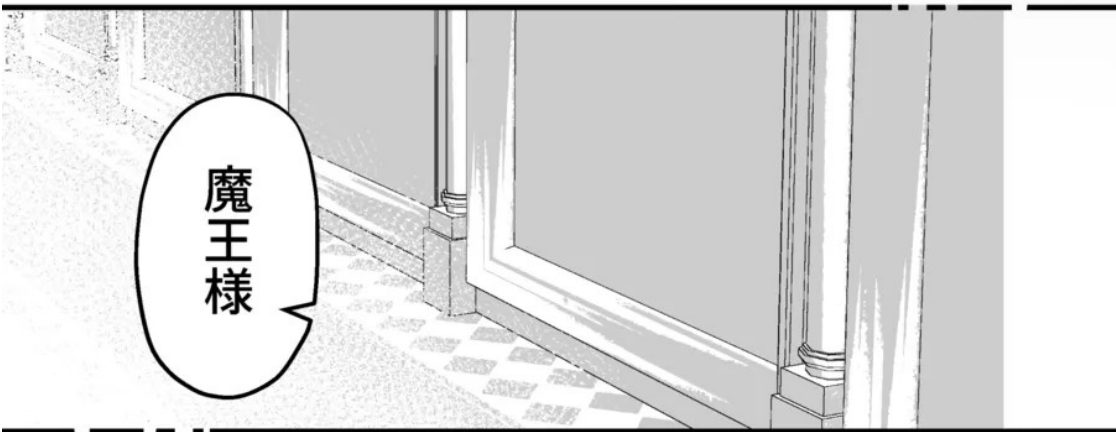




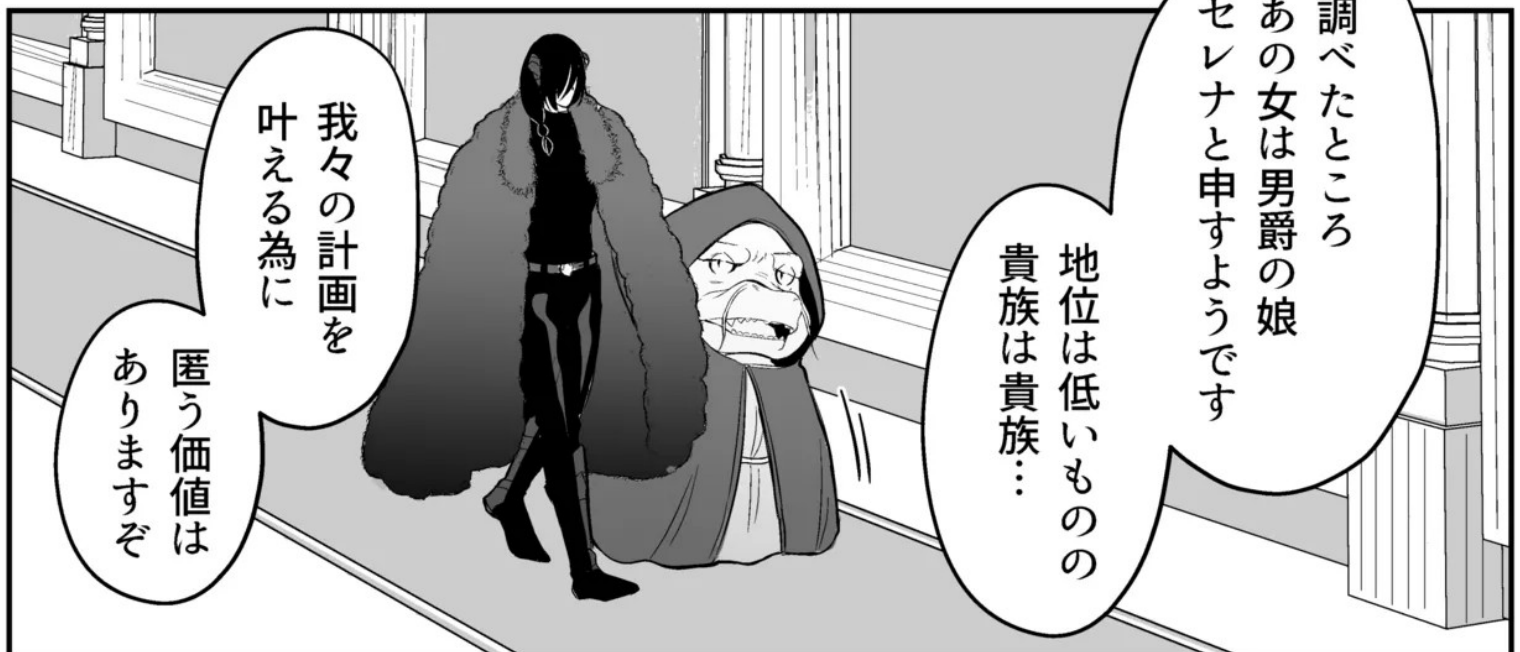




この状況で眠るとは
大した女だな



魔王様



調べたところ
あの女は男爵の娘
セレナと申すようです

地位は低いものの
貴族は貴族…

我々の計画を
叶える為に

匿う価値は
ありますぞ

ああ
分かっている

もとより
そのつもりだ

価値がある限り
此处に置いておく

あの女……セレナの目は

本当に復讐を望む目……

きつと俺の役に立つ

それともう一つ……

王国の王子と
エルフの皇女が結婚を
するようで

あの人間が追放されたのも
そのせいかと

どうやら俺にも

魔王様

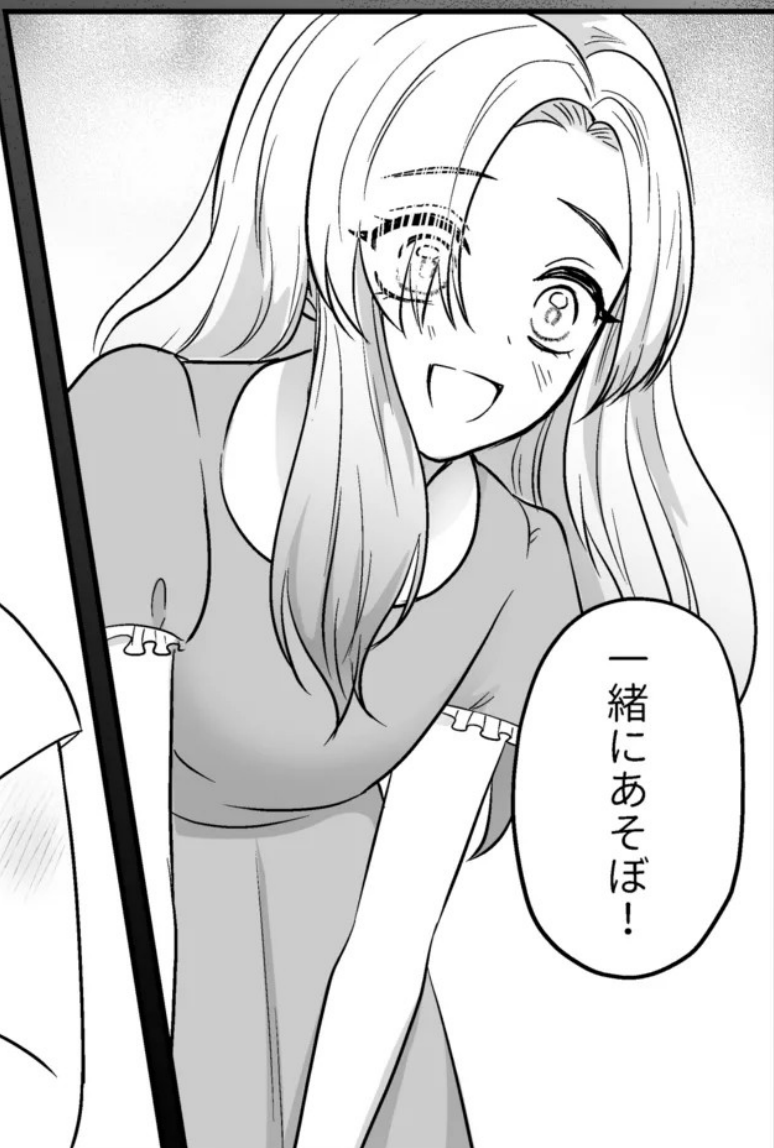
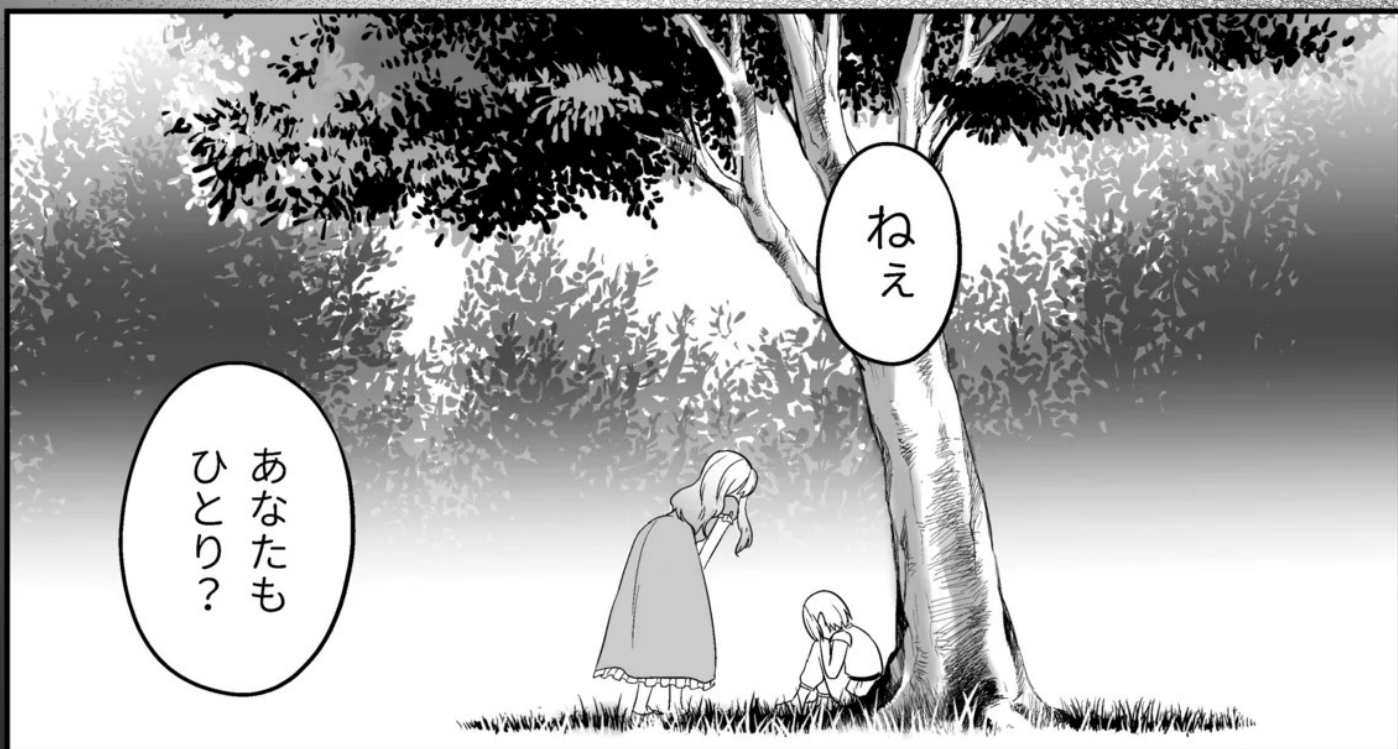


今が好機ですぞ

エルフ国を

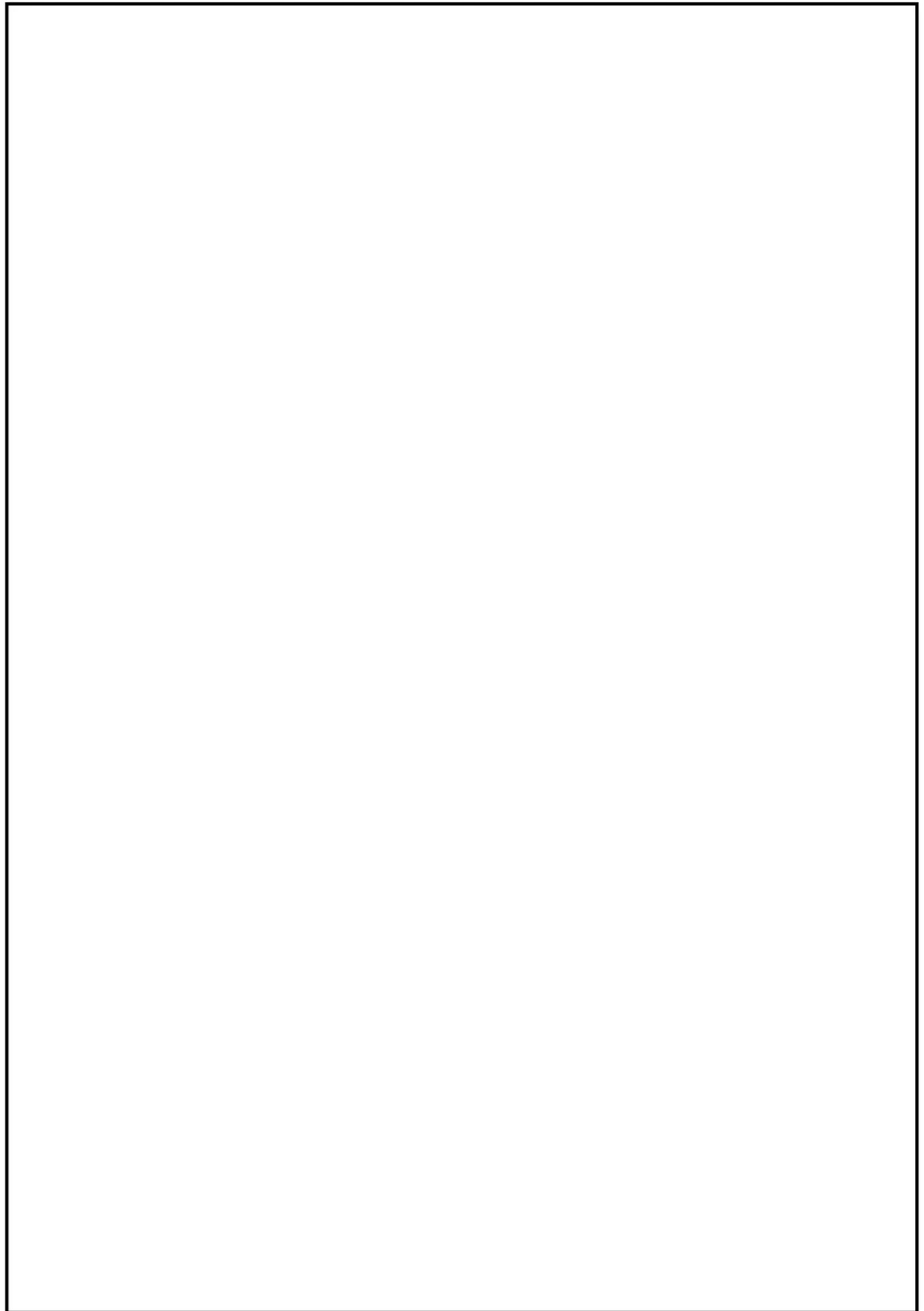
運が回ってきたようだ

攻め落とす…!!





to be continued...



あとがき

この度はご購入いただきありがとうございました！
自身22本目の作品、いかがだったでしょうか！

今作はファンタジーの世界観で
ストーリーを作ってみたいなと思い
描かせていただきました！
王子、エルフ、魔王、そして
令嬢セレナがもたらすストーリーの
今後を、是非楽しみにしてください！

これからも色々な事にチャレンジしていきますので
是非「柚子姫」を今後ともどうぞよろしくお願い致します！

月1～2本を目安に新作販売予定です！

新作同人誌の進捗等はTwitter又はpixivにて公開中！
Twitter→@Yuzuki_mikanz
クリエイター検索:「柚子姫」R-18

2022/10/18

柚子姫